

<p>当院は下記研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを望まない場合は、下記の問い合わせ先にお問合せください。</p>	
研究番号	22—6
研究課題名	高齢者脊椎疾患の病態解明と画像所見に関する研究
当院の研究責任者（所属）	樽角清志（整形外科）
他の研究機関及び各施設の研究責任者	九州大学病院別府病院 整形外科 九州大学病院別府病院整形外科 教授 播広谷 勝三
研究の目的	<p>高齢者脊椎疾患は要介護状態になる原因疾患の一つであり、特に腰痛症は患者数が多いと言われている。社会の高齢化に伴い、腰痛症の罹患率は高くなると考えられる。</p> <p>以前より MRI にて椎体終板に認める異常信号である Modic change と腰痛の関係が報告されてきたが未だ病態解明されていない現象の一つである。さらに、過去の報告では、高齢者層ではなく、若年層を対象にしたものが多く、超高齢者を含む Modic change の病態を検討することは、今後高齢者になる中高年層の健康寿命を延ばす意味でも重要になると思われる。</p> <p>そこで本研究ではまず各年齢層における Modic change の分布について調査し、各年齢層における腰痛との関連について検証する。</p>
調査データの該当期間	2011 年 4 月～2026 年 6 月 30 日
実施期間	研究許可日～2026（令和 8）年 6 月 30 日
研究の方法（対象となる方）	平成 23 年 4 月 1 日から令和 8 年 6 月 30 日までに九州大学病院別府病院、2018 年 4 月から 2023 年 3 月 31 日までに九州労災病院で脊椎疾患の診断で診察治療を行った患者
試料/情報の他機関への提供	画像・カルテデータ。
個人情報の取り扱い	個人情報の取扱いに関して、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適用される法令、条例等を遵守する。取り扱う情報には要配慮個人情報が含まれる。調査項目に患者氏名は含まれないが、研究に関する情報の公表においては、個人が特定されないことがないように配慮する。また、情報の保管及び廃棄は「(10) 試料・情報の保管及び廃棄の

様式 1-4 号

	方法」に従い厳重に管理する
本研究の資金源	なし
お問い合わせ先	九州労災病院 整形外科 樽角清志 TEL:093-471-1121
備考	